

いいもの成らせるさくらんぼ便り

Vol. 3 摘果は実止まりをよく確認してから実施！

**実止まりのばらつき大。摘果は結実を確認して実施！
生育は平年より1週間早い。被覆作業は遅れずに！**

1. これまでの状況

- ・ 4月上旬までの降霜で「紅秀峰」「やまがた紅王」中心に被害が発生
- ・ 満開期は平年より6～8日早い：佐藤錦4/21、紅秀峰4/16（園芸研）
- ・ 開花始期から満開までが平年より長く、品種間の開花のずれが大きい

2. 着果管理 ～今年はず況に応じた管理が重要～

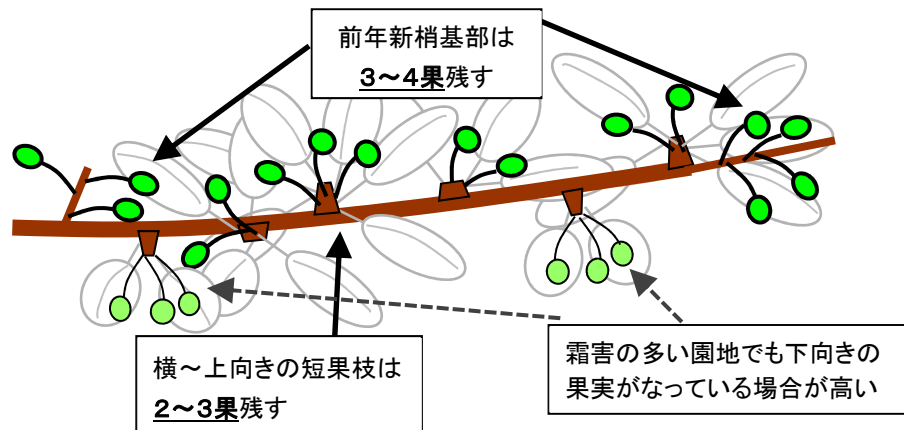
- 見止まりは、園地・着果部位・品種によるばらつきが大きい。
- 開花期間が長く果実肥大にもばらつき（見止まりの判断に時間を要する場合もある）
- **自園地の実止まりをしっかりと確認し、摘果をスタート！**

表 摘果実施時期の目安

品種	満開後日数	結実しやすい果実の横径
佐藤錦	15～17日後	10～11mm以上
紅秀峰	14日後	7mm以上

【今年の摘果のポイント】

- ・ 霜害を受け、着果部位（高さ、方向）により結実差が大きい。全体的に着果が少ない場合でも、着果過多の部分は摘果を実施
- ・ 摘果は受粉樹周りや樹勢が弱い樹から優先して行う！



3. その他

- 生育は**平年より1週間程度早い！被覆等の作業は遅れないように**計画的に進めよう！
- 雨除け被覆後、乾燥が続くようなら灌水を！（満開30日頃までが重要）
- 灰星病対策：10日おきを目安に薬剤散布の実施を！

雨除け被覆や脚立作業では安全に注意！高所作業時はヘルメット着用！